

令和 5 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	魅力発信と交流のまちづくり						
施策 No.	22	施策名	観光の振興						
主管課名	商工観光課								
関係課名	企画政策課、情報広報課、地域協働課、農林水産課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、水族博物館								
10年後の 目指す姿	地域の魅力が広く国内外へ発信され、魚津市の認知度が高まり、観光客が増加しています。								
施策の現状 及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚津まつりなど、大勢の人が来場する観光イベントを年間通じて開催しています。また、観光誘客のための出向宣伝を行っています。</li> <li>・観光客の受け入れ体制充実のため、観光協会の運営支援や観光スポットの整備を行っています。</li> <li>・近隣自治体と連携し、主に海外からの観光誘客促進に取り組んでいます。</li> </ul>							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客のニーズを把握して受け入れ体制を整備し、来訪者の満足度を高める必要があります。</li> <li>・観光振興事業を効果的に実施するため、様々なデータを分析・活用する必要があります。</li> <li>・広域観光の情報を効果的に発信し、誘客に結び付けることが期待されています。</li> </ul>							
施策を進めるための 役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の磨き上げと新たな地域資源の発掘に取り組みます。</li> <li>・観光PR活動をはじめ、ホームページや観光ガイドなど情報インフラの整備を促進します。</li> <li>・インバウンドに対応した受け入れ体制を充実させます。</li> </ul>							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の観光資源に誇りを持ち、自ら情報発信します。</li> <li>・観光客におもてなしの心をもって接します。</li> </ul>							
目指す姿の実現のための取組 (基本事業)	基本事業①	地域資源のブランド力向上							
	基本事業②	地域の魅力発信体制の整備							
	基本事業③	イベント・受け入れ体制の充実							
	基本事業④	広域観光ネットワークの振興							
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	10 (10)	10 (10)	9 (9)			
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	3 (3)	3 (3)			
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)			
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	3 (3)	2 (2)			
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	106,422	166,166	141,066			
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	10,165	32,773	14,972			
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	7,874	4,674	9,236			
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	82,962	122,155	110,659			
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	5,421	6,564	6,199			
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	23	22	22				
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,500	9,600	9,800				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	29,423	37,210	38,769				
F. トータルコスト (B+E)		千円	135,845	203,376	179,835				
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)		円	2,629	4,163	3,592			
	同 上		円	727	932	987			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)		円	3,356	5,095	4,579			
	同 上		円	3,356	5,095	4,579			
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876	3,956			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919	39,274			

基本事業概要シート①

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	①地域資源のブランド力向上		
基本事業の目的(意図)	観光資源の磨き上げを図ると同時に新たな地域資源を発掘し、魅力の向上に取り組んで魚津ブランドを創出します。また、観光資源の特徴を活かしながらネットワーク化し有効に活用します。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【観光・物産宣伝事業】(施策22③再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2日間の開催とした「じゃんとこい魚津まつり」や「よっしゃ来い!!!CHOUROKUまつり」をはじめ、「魚津の朝市」や「イルミラージュ UOZU」に対し開催支援を行い、観光誘客に努めました。なお、「漁火まつり」は担い手不足等により今後は開催しないことになりました。</li> <li>・民間事業者へ委託し、魚津産豚「魚津しんきろうポーク」を用いた料理を〇〇魚津やミラージュランドの売店等で販売しました。併せて、チラシやポスター、のぼり旗を作成し、普及・PRに努めました。</li> </ul> <p>【食泊連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度から3か年計画で地方創生推進交付金を活用し、とやま観光推進機構と連携し「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」の取組みを実施しており、令和5年度は市の特産品である「紅ズワイガニ」を軸とした飲食・宿泊プランを発信するLP(ランディングページ)の制作・公開や、魚津駅前を中心とした飲食店デジタルマップもリリースしました。また、令和4年度に引き続き関係団体と連携しながら、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を開催しました。</li> </ul> <p>【産業観光推進事業】(施策26①、27①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーについては、魚津商工会議所や観光協会等と連携しながら、8月、10月(〇〇魚津と同時開催)、3月の計3回開催し、延べ99名の参加者と延べ14社の参加事業者がありました。</li> </ul> <p>【ふるさと納税推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附の受付サイトなどを14から19に、また、返礼品を690品から791品に増やすなど寄附者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化に努めました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光消費額(暦年)	百万円	7,301	4,194	7,423 4,354	7,300 5,549	7,700 6,003	8,100	8,500	(8年度8,880)
産業観光実施事業者数	箇所	5	0	6 0	6 14	6 14	6	7	10

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 産業観光推進事業	159,000	158,440	560	A	商工観光課
2	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業	12,346,000	11,813,472	532,528	A	商工観光課
3	一般会計	○ 食泊連携事業	3,000,000	2,999,750	250	B	商工観光課
4	一般会計	○ ふるさと納税推進事業(施策3①再掲)	(702,169,000)	(678,131,013)	(24,037,987)	A	企画政策課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			15,505,000	14,971,662	533,338		

基本事業概要シート②

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	②地域の魅力発信体制の整備		
基本事業の目的(意図)	観光宣伝のため、様々な情報発信ツールを特性に合わせて効果的に活用します。また、新しい生活様式を踏まえた上で、観光客のニーズに合わせた観光ガイドや観光コースの充実を図ります。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【シティプロモーション事業】(施策2①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚津の情報を掲載したリーフレット(UOペーパー)を作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布し、専用ホームページの運用などを行いました。</li> <li>・シティプロモーション動画(魚津四季)をSNS等で配信しました。</li> <li>・片貝地域振興会がR4年度に作成した「片貝体験プログラム」の冊子等を片貝コミュニティセンター(毛勝の郷シェルピース)施設内へ配架、ホームページ掲載など、県内外からの施設利用(予定)者等に片貝川流域水循環遺産の魅力を発信・周知しました。</li> </ul> <p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会及び観光案内所の支援を行うとともに、蜃気楼展望地での清掃員・解説員の配置を行いました。</li> </ul> <p>【インバウンド推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス回復後の観光需要の取り込みを目的として台湾との交流・提携の可能性のある都市や自治体の調査や候補地の視察を行いました。</li> <li>・多言語観光パンフレット(UO/NAVI韓国語版)の制作や、中国市場に対する訪日旅行者向けメディアでの魚津市情報掲載記事の作成等を行いました。</li> </ul> <p>【広域観光連携事業】(施策22④再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)において、ツーリズムEXPOジャパン2023への出展をはじめ、北陸新幹線敦賀延伸を見据え、さいたま市における出向宣伝等により、新川地域の観光PR等を行いました。</li> <li>・にいかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、北陸DC(デスティネーションキャンペーン)における全国販売促進会議へのブース出展やWebメディアを活用したにいかわ地域の誘客促進、インバウンドにおける海外現地旅行会社との商談会や観光情報発信等を行いました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光客入込数(暦年)	千人	1,536	881	1,557 923	1,536 1,235	1,567 1,289	1,598	1,630	1,700 (8年度1,663)
魚津市観光協会HPアクセス数(年度)	千件	314	125	240 123	321 221	328 209	335	342	(8年度350)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ インバウンド等推進事業	6,700,000	6,700,000	0	A	商工観光課
2	水族館事業特別会計	水族博物館広告宣伝事務	1,967,000	1,136,793	830,207	-	水族博物館
3	一般会計	埋没林博物館観客誘致事業	2,228,000	1,399,202	828,798	-	埋没林博物館
4	一般会計	○ シティプロモーション事業(施策2①再掲)	(905,000)	(892,980)	(12,020)	B	情報広報課
5	一般会計	○ 受入体制整備事業(施策22③再掲)	(125,896,000)	(108,015,327)	(17,880,673)	A	商工観光課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			10,895,000	9,235,995	1,659,005		

基本事業概要シート③

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	③イベント・受け入れ体制の充実		
基本事業の目的(意図)	多くの人が集まり、交流し、賑わいが生まれる祭りや各種イベントを開催・支援します。また、観光案内サインやガイドの充実など満足度を高める受け入れ体制の整備を進めます。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3次魚津市観光振興計画」の総合的かつ計画的な推進と各団体が連携を図り進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを行い、取り組みを継続的に改善しながら進めていけるよう魚津市観光振興計画推進協議会を開催しました。</li> <li>・観光の専門家派遣事業や観光推進体制組織強化事業を実施しながらDMO(※)設立に向け、設立検討委員会を組織し、組織体制や事業内容等の検討を行いました。(※DMO(Destination Management/Marketing Organizationの略)…官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人)</li> <li>・令和5年5月に国の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択を受け、市が策定した地域計画に沿って施設改修や廃屋撤去を行う事業者に対し、国が交付する補助金に対し市から上乘せ支援を行いました。</li> <li>・魚津駅観光案内所に観光コンシェルジュを週3回配置し、観光情報拠点として案内所の機能強化に努めました。</li> <li>・魅力的な旅行商品・サービス開発事業では、旅行商品の開発と販売システムの導入を行いました。魅力的な旅行商品・サービスの開発に関しては、民間事業者へ委託し、市内事業者とともに観光体験コンテンツとなりうる観光資源の発掘・磨き上げを行った上で、販売可能な商品を8つ開発しました。観光商品販売システムの導入に関しては、魚津市観光協会へ委託し、JTBの販売予約システムである「BOKUN」を導入しました。観光協会HP内の体験プランページにて、オンラインで予約の受付・販売ができるよう整備しました。</li> </ul> <p>【コンベンション開催支援事業】(施策3①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の拡大や賑わいの創出を目的に、合宿誘致や市内での企業ミーティングなど、コンベンション開催団体に対して助成を行っています。実績は1件にとどまりました。</li> </ul> <p>【サイクリングを活用した賑わい創出事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル「みらくる」や専用HPの運営管理を行うとともに、発信力や訴求力の高いサイクルYouTuber2名を起用し、サイクリングを楽しみながら地域の食や景色、人との出会いを発信できる動画4本をWebで配信しました。</li> </ul> <p>【観光・物産宣伝事業】(施策22①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2日間開催とした「じゃんとこい魚津まつり」や「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」をはじめ、「魚津の朝市」や「イルミラージュUOZU」等に対し開催支援を行い、観光誘客等に努めました。なお、「漁火まつり」は担い手不足により今後は開催しないことになりました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光満足度(年度)	%	63.7	54.3	64.5 71.4	64.8 50.7	65.2 52.2	65.6	66.0	70.0
延べ宿泊者数(暦年)	千人	295	178	395 190	295 216	301 227	307	314	323 (8年度320)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 受入体制整備事業	125,896,000	108,015,327	17,880,673	A	商工観光課
2	一般会計	○ サイクリングを活用した賑わい創出事業	3,358,000	2,643,900	714,100	B	商工観光課
3	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業(施策22①再掲)	(12,346,000)	(11,813,472)	(532,528)	A	商工観光課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
合計			129,254,000	110,659,227	18,594,773		

基本事業概要シート④

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	④広域観光ネットワークの振興		
基本事業の目的(意図)	広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランを作り、滞在型観光を促進します。また、様々な交流都市との観光相互連携活動を推進します。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【広域観光連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)において、ツーリズムEXPOジャパン2023への出展をはじめ、北陸新幹線敦賀延伸を見据え、さいたま市における出向宣伝等により観光PR等を行いました。(施策22②再掲)</li> <li>・にいかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、北陸DC(デスクティネーションキャンペーン)における全国販売促進会議へのブース出展やWebメディアを活用したにいかわ地域の誘客促進、インバウンドにおける海外現地旅行会社との商談会や観光情報発信等を行いました。(施策22②再掲)</li> <li>・にいかわ観光圏協議会へ滑川市が再加入したこと等により、新川地域観光開発協議会との組織の在り方について、統合に向けた検討等を行いました。</li> <li>・観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
新川地域宿泊者数(暦年※滑川市は含まず)	千人	704	396	845 395	702 529	712 600	722	733	774 (8年度743)
市内外国人延べ宿泊者数(暦年)	人	13,503	2,696	22,000 1,113	5,000 739	13,500 4,561	14,000	14,500	24,300 (8年度15,000)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和5年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	○ 広域観光連携事業	6,775,000	6,198,880	576,120	A	商工観光課	
2	一般会計	○ インバウンド等推進事業(施策22②再掲)	(6,700,000)	(6,700,000)	(0)	A	商工観光課	
3					0			
4					0			
5					0			
6					0			
7					0			
8					0			
9					0			
10					0			
11					0			
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合計			6,775,000	6,198,880	576,120			

施策 No.	22	施策名	観光の振興
--------	----	-----	-------

1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景  
(成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)

【①地域資源のブランド力向上】  
◆裾野の広い観光産業を強化し、市内の観光消費を拡大するには、観光産業の高付加価値化を図ることが必要です。令和5年度の観光消費額は60億3百万円と、令和4年度より4億5千4百万円増加しました。なお、コロナ禍前の令和元年度と比較すると12億9千8百万円減少しています。  
◆市民が地域資源に誇りを持ち、情報発信力や来訪者の満足度等を高めるためには地域資源の磨き上げやブランド力の向上が必要です。

【②地域の魅力発信体制の整備】  
◆魚津市の認知度を向上させ観光振興を効果的に実施するためには、様々なデータを分析・活用し、観光客の多様なニーズに合わせた情報インフラや魅力発信体制の整備が必要です。  
◆令和5年度の「観光客入込数」は、1,289千人(昨年比54千人増)と増加していますが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると247千人の減少となっています。  
◆観光協会のホームページは、令和5年度のアクセス数は209千件(昨年比12千件減)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(314千件)と比較しても大きく減少しています。  
◆市フェイスブックに加え、市Twitterを開発したことによりSNSの閲覧件数が増加しています。

【③イベント・受け入れ体制の充実】  
◆人口減少社会の中、交流人口を拡大し地域経済を維持していくためにも、祭りをはじめとする各種イベントの開催や観光施設の高付加価値化をはじめとする観光における「稼ぐ力」の強化、観光客の満足度を高める受け入れ体制の整備等が必要です。なお、新型コロナウイルス感染症は令和5年5月より感染症法上の位置付けが2類から5類に移行されました。  
◆令和5年度の延べ宿泊者数は227千人(昨年比11千人増)と増加となりましたが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると68千人の減少となっています。  
◆令和5年度の観光ガイド登録者数は33名と前年度と同人数でした。観光ガイドの確保や育成等には、研修等を充実させるなど地道に増やしていくことが重要であり、広報紙等を通じて人員増に努めています。  
◆魚津駅前観光案内所の利用者について、令和5年度は13,683人(令和4年度14,044人)と令和4年度と比較して361人とわずかに減少しました。引き続き、来訪者が気軽に訪れやすい環境整備や情報発信を図り、来訪者の満足度の高い観光案内に努めていく必要があります。

【④広域観光ネットワークの振興】  
◆新川地域(2市2町※滑川市を除く)の令和5年度の宿泊者数は600千人(昨年比71千人増)と昨年度より増加しました。なお、コロナ禍前の令和元年度(702千人)と比較すると102千人減少しています。  
◆市内における外国人の令和5年度の宿泊者数は4,561人(昨年比3,822人増)と増加していますが、コロナ禍前の令和元年度(13,503人)と比較すると8,942人減少しています。  
◆2024年3月に北陸新幹線は敦賀駅まで延伸となり、今後の黒部宇奈月キャニオンの一般開放等を控え、関係人口を創出し、本市における長期滞在環境を整えるためにも、今まで以上に富山県や新川地域、交流都市等との連携強化が必要です。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括  
(令和5年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)

【基本事業共通】  
◆令和4年度から8年度までの5年間を期間とする「第3次魚津市観光振興計画」に基づき、「観光で稼げる」地域づくりを目指し、各事業に取り組んでいます。

【①地域資源のブランド力向上】  
＜宿泊連携事業＞  
◆とやま観光推進機構と連携し「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」を実施しており、令和5年度は市の特産品である「紅ズワイガニ」を軸とした飲食・宿泊プランを発信するLPの制作・公開や、魚津駅前を中心とした飲食店デジタルマップもリリースしました。また、令和4年度に引き続き関係団体と連携しながら、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を開催しました。

【②地域の魅力発信体制の整備】  
＜シティプロモーション事業＞  
◆魚津の情報を掲載したリーフレット(UOペーパー)を作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布し、専用ホームページの運用などを行いました。  
◆シティプロモーション動画(魚津四季)をSNS等で配信しました。  
＜インバウンド推進事業＞  
◆新型コロナウイルス回復後の観光需要の取り込みを目的として台湾との交流・提携の可能性のある都市や自治体の調査や候補地の視察を行いました。

【③イベント・受け入れ体制の充実】  
＜受入体制整備事業＞  
◆「第3次魚津市観光振興計画」の総合的かつ計画的な推進と各団体が連携を図り進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを行い、取り組みを継続的に改善しながら進めていけるよう魚津市観光振興計画推進協議会を開催しました。  
◆観光の専門家派遣事業や観光推進体制組織強化事業を実施しながらDMOの設立に向け、設立検討委員会を組織し、組織体制や事業内容等の検討を行いました。  
(※DMO…官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人(Destination Management/Marketing Organization)の略)  
◆令和5年5月に国の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択を受け、市が策定した地域計画に沿って施設改修や廃屋撤去を行う事業者に対し、国が交付する補助金に対し市から上乗せ支援を行いました。  
＜観光・物産宣伝事業＞  
◆2日間開催とした「じゃんこい魚津まつり」や「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」をはじめ、「魚津の朝市」や「イルミラージュUOZU」に対し開催支援を行い観光誘客等に努めました。

【④広域観光ネットワークの振興】  
＜広域観光連携事業＞  
◆いかわ観光協議会(事務局:黒部市商工観光課)、新川地域観光開発協議会等による近隣他市町との観光連携や観光交流都市、県等との連携により、北陸DC(※デスティネーションキャンペーン)における全国販売促進会議へのブース出展や市内におけるエクスカーションの開催等をはじめ、WEBメディアでの情報発信や出向宣伝、インバウンドにおける商談会等を行い、工夫しながら効果的な活動に努めました。  
(※)DC…「Destination(目的地・行き先) + Campaign(宣伝・運動)の造語」で、集中的なPRを実施し、全国からの送客を図り、地域を活性化させることを目的としているもの。  
◆いかわ観光協議会へ滑川市が再加入したこと等により、新川地域観光開発協議会との組織の在り方について、統合に向けた検討等を行いました。

令和5年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)

3. 施策の課題認識及び取り組み状況  
(前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

【基本事業共通】  
◆引き続き、第3次観光振興計画に基づき各種事業を実施します。

【①地域資源のブランド力向上】  
◆「魅力ある食の街」として、魚津駅前に飲食店と宿泊施設が数多く立地するという観光インフラの特性と、集客力がある「カニ」の魅力の発信を強化することで、本市の観光開散期となる冬季の誘客と延泊を促進します。

【②地域の魅力発信体制の整備】  
◆人流分析システムや携帯電話GPS機能等を活用し、市内観光施設等の入込数や年代、性別等の観光データを収集、分析し、今後の観光戦略に活かします。  
◆各SNSの特性を活かし、情報を必要としている人へ、その人がアクセスしやすい方法で情報を発信します。  
◆令和4年度に制作したシティプロモーション動画を広告としてセグメント配信することにより、効果的に魚津をアピールします。  
◆片貝地域振興会が毛勝の郷シェルピース(片貝コミュニティセンター)を核として「片貝体験プログラム」により、洞杉等の地域資源を活用し、交流人口・関係人口の拡大を目指します。

【③イベント・受け入れ体制の充実】  
◆令和4年度から実施している「観光推進体制組織強化事業」をさらに推し進め、DMOの設立を見据えた観光地域づくりの推進体制とその中心的な役割を担う組織の構築を目指します。  
◆地域全体の魅力と収益力の向上を図り、持続可能な観光地域づくりを推進するため、国の採択を受けた市内宿泊・観光施設の高付加価値化に向けた施設改修や廃屋撤去の取組みに対して、令和5年度に引き続き支援を行います。  
◆「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」や「じゃんこい魚津まつり」等のイベントについては、支援を行いながら開催することで観光客の誘客や地域活性化等に取り組めます。

【④広域観光ネットワークの振興】  
◆新川地域観光開発協議会を解散し、その事業等をいかわ観光圏に引継ぐことにより、効果的な連携体制のもと総合観光イベントの出展や広域周遊観光の促進、インバウンド対応の取組等に努めます。  
◆令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸に向けて、県やJR西日本等と連携したデスティネーションキャンペーン(DC)を展開し、関西圏の旅行者はもとより、北陸観光の選択肢が広がる新幹線沿線の長野県や北関東エリアからの誘客強化に努めます。  
◆新型コロナウイルス回復後の観光需要の取込みを目的に、インバウンド事業及び国際交流の深化に向けて具体的な交流を促進するため、台湾との交流、提携の可能性のある自治体等との連携や交流を深めることにより、台湾からの外国人旅行者の誘客及び国際交流・相互交流の強化に努めます。